

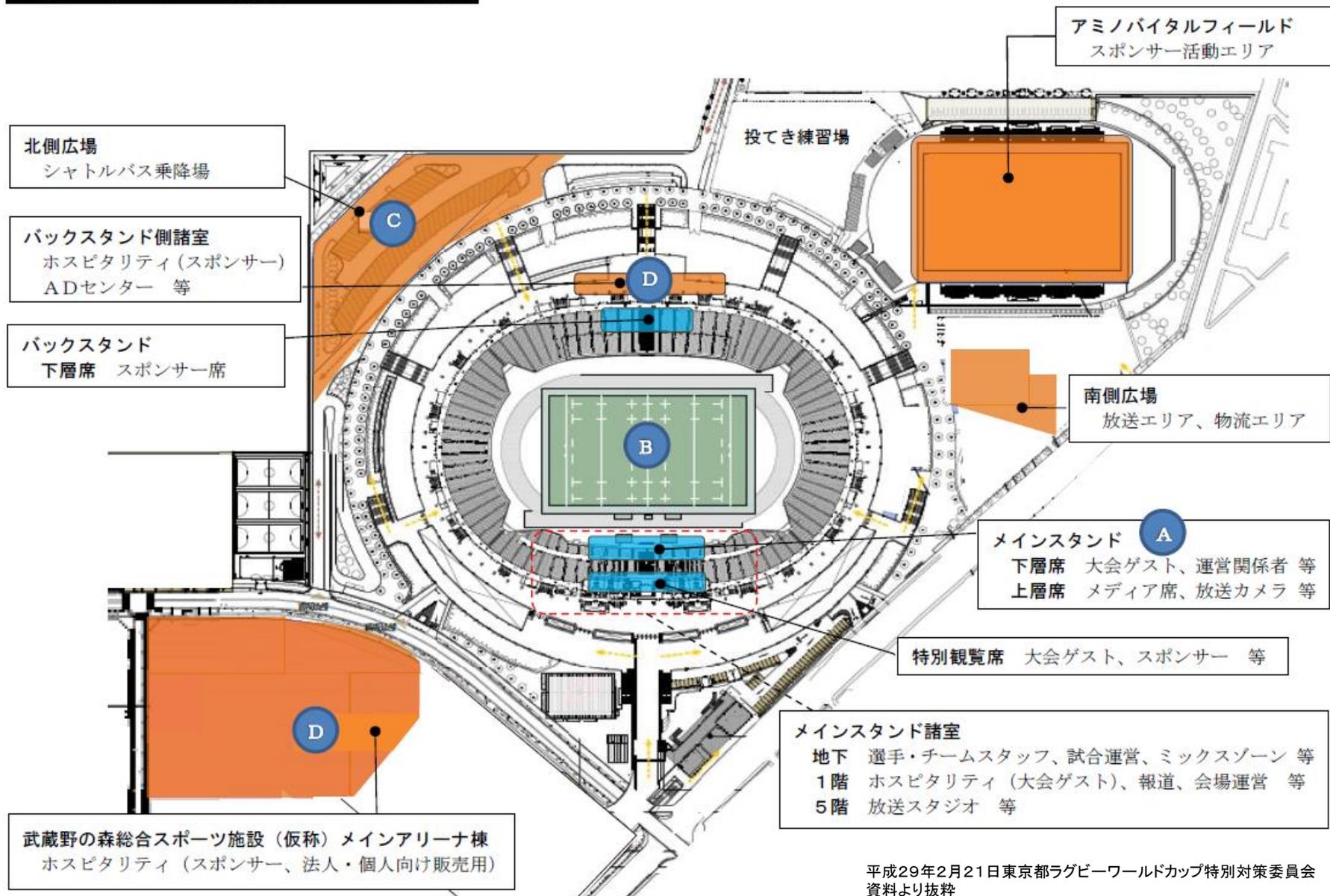
# ラグビーワールドカップ2019へ向けた動向について



豊かな芸術文化・スポーツ活動を  
育むまちづくり宣言

# 会場スペース割当計画について

## 東京スタジアムの会場スペース割当案



# ラグビーワールドカップ2019東京都交通輸送基本計画について

## 1 計画の前提

- 位置付け  
組織委員会が策定するガイドラインを踏まえて開催都市が作成する交通輸送の計画
- 想定来場者数  
来場者数 約50,000人/試合  
関係者等の車両台数 【開幕戦】約1,650台 【その他の試合】約1,200~1,500台

## 2 主な内容

### (1) 公共交通機関で来場する観客への対応

- 鉄道輸送計画
  - ・ 最寄りの鉄道駅：**【京王線】飛田給駅（徒歩5分）**，**【西武多摩川線】多磨駅（徒歩8分）**  
【西武多摩川線】多磨駅（徒歩20分）
- ※ **京王線飛田給駅では、特急・準特急の臨時停車を実施**

- 歩行者誘導計画
  - ・ 歩行者動線上において、誘導のための人員・サインを適切に配置
  - ・ 交差点での信号サイクル調整等の対策を検討し、観客の滞留を抑制

- シャトルバス輸送計画  
【想定箇所】**調布駅**，**多磨駅**，**武蔵境駅**，**狛江駅**，**武蔵小金井駅**

### (2) 車で来場する大会関係者等への対応への対応

- 自動車誘導計画
  - ・ 特別に許可する者以外は、公共交通機関の利用を徹底
  - ・ 関係者等の車両は、アクセスルートや入退場時間帯の分散により、道路混雑を緩和
  - ・ 関係者等の駐車場は、東京スタジアム及び周辺の駐車場等を活用



平成30年3月9日東京都オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ推進対策特別委員会資料より抜粋



平成30年3月9日東京都オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ推進対策特別委員会資料より抜粋

# ファンゾーン候補地の選定について

## 1 ファンゾーン概要

「ファンゾーン」とは

- ・ 大勢の来場者が一緒にラグビーワールドカップのパブリックビューイング等を楽しむ場所
- ・ 各開催都市（東京都等）に最低1箇所
- ・ パブリックビューイング、ラグビー体験、ケータリング等のイベントスペース
- ・ 無料で入場可

## 2 都内のファンゾーン会場候補地

以下5点を考慮し、区部、多摩地域で1箇所設定

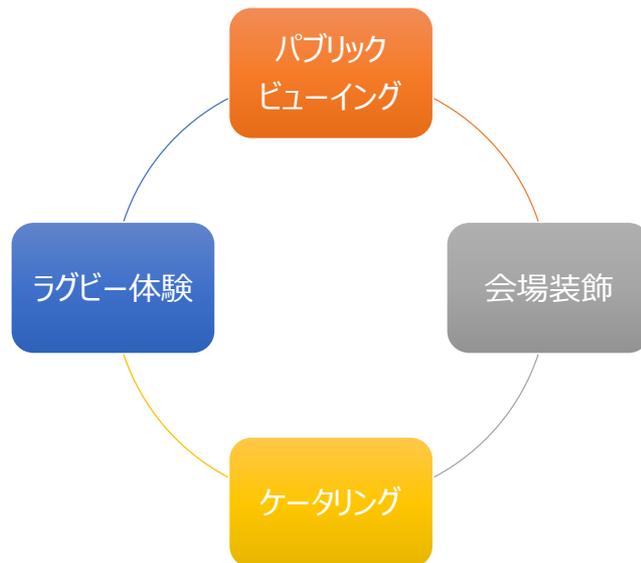
- ①立地場所
- ②開催日
- ③雨天・寒さ対策
- ④夜間（～22時）の照明・音出し対策
- ⑤実施経費

【候補地】

- ・ 区部会場 旧1000days劇場（有楽町駅徒歩1分）
- ・ 多摩会場 調布駅前広場・グリーンホール

※ 今後、開催日数や実施内容等について調整

### 【参考】 主な実施内容



（パブリックビューイング）



（ラグビー体験）



（ケータリング）



（会場装飾）

《RWC2015イングランド大会より》

# ラグビーウォールギャラリーについて

## 1 概要

ラグビーワールドカップ2019日本大会開幕1年前の機運醸成の取組の一環として、大会オフィシャルスポンサーであるキヤノン株式会社と協力し、調布駅前広場工事ヤード壁面に、前回イングランド大会時の迫力ある写真を掲出した。

## 2 場所

調布駅南口広場工事ヤード東側壁面  
高さ約3m × 幅約26m

## 3 掲出開始日

平成30年9月22日（土）

### 【掲出中のラグビーウォールギャラリー】

